茯苓ニ就テ

邦産藥用植物生産狀況調査 (其二)

津村研究所 木村雄四郎

YUSHIRO KIMURA: Ueber die Japanische Arznei-drogen, ihr Anbau, ihr Einsammlung und Zubereitung etc. (II): Ueber von *Pachyma Hoelen* RUMPHIUS

茯苓ハ又茯靈ト稱シ不完全菌類ニ屬スルぶくれう一名まつほど *Pachyma Hoelen* RUMPHIUS ノ菌體ヲ乾燥シタモノデ漢方醫學上利尿劑トシテ重要ナ地位ヲ占メ本邦ニ於ル年産額ハ略々 20 萬斤ニ達シテヰル。

茯苓ハ我邦ノ各地ニ産シ就中東京府 (2～3萬斤)、千葉、埼玉縣 (2萬斤) 茨城、栃木縣 (3萬斤)、長野縣 (1萬斤) 奈良縣 (3～4萬斤) ガ其主ナルモノデアラウ。殊ニ東京市場デハ茨城縣笠間方面所産ノモノヲ笠間茯苓ト稱シ其品質ノ優良ヲ以テ知ラレ、關西デハ古來薩摩産ヲ上品トシテヰル。

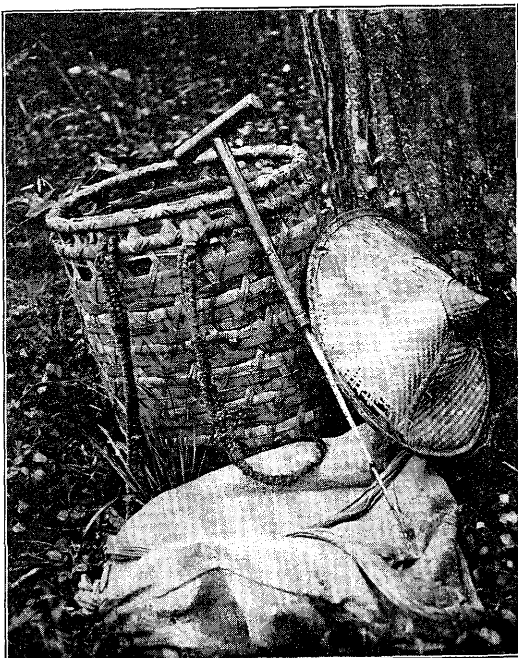


Fig. 1. Das Sammelgerät von *Pachyma Hoelen* RUMPH. in Japan.
茯苓籠、茯苓突キ及ビ茯苓袋 (木村寫ス)

茯苓ハ藥用トシテ需要モ多イタメ古來農村ニ於テハ晩秋カラ翌春 3～4 月頃ノ農閑期ニ於ルーツノ副業トシテ所謂茯苓**ツキ**ガ行ハレ其ノ方法ハ各地何レモ大同小異デ採集用具ハ茯苓突キト鎌ト茯苓籠トノ 3 種デ足リル。茯苓突キハ地方ニヨリ**ホドツキ**トモ稱シ多少ノ大小ガアルガ要スルニ堅木ノ丸棒ヲ以テ直徑凡ソ 1 寸、長サ 6 寸ノ柄ニ長サ 1 尺 4～5 寸ノ棒ヲ丁字形ニツケ其ノ先キニ長サ 1 尺 5 寸～2 尺ノ火箸様ノ鋼鐵製圓

棒ヲ附シタモノデ其先端ハ尖ツテ居ル。鎌ハ所謂桑切鎌デ双渡2寸5分〜3寸位ノモノ、茯苓籠ハ口徑約1尺5寸、高サ2尺位ノ竹籠デ茯苓約10貫匁ヲ入レルニ足ル。近來ハコノ茯苓籠ノ代リニ所謂南京袋ノヅック製袋ガ用ヒラレ聊カノ時代色ガ見ラレル。

東京府小金井村渡邊今藏氏ハ家業トシテ既ニ親子3代ニ渉リ茯苓採集業ヲ營ンデヰルガ余ハ一日同氏ニ就テ武藏野ノ一角ニ興味アル茯苓つきヲ行ヒタルヲ以テ先ヅ其見聞談ヲ御紹介スル。

茯苓ノ採集ト其調製法

茯苓ハ概ネ松樹ノ伐採後3〜4年ヲ經テ松根ノ周圍土中ニ發生シ又蕨ヤ二三ノ禾本科植物ノ根ニモ發生スルト謂ハレテヰルガ是ハ極メテ稀ノヤウデアル。尙茯苓ハ赤松ニ比シ黑松ニ多ク發生スル。是等ノ松ハ切截期ニヨリ俗ニ秋切及春切ニ區別シ秋切ハ一般ニ切口白ク春切ハ切口ガ赤イ。茯苓ハ松ノ所謂秋切レノ3〜4年ヲ經過シタ松根ニ多ク發生スル故ニ採集ノ目標ハ松林デアツテ先ヅ



Fig. 2. Ernte von *Pachyma Hoelen* Rumphius in Japan.
茯苓ノ採集狀況（木村寫ス）

松ノ切株ニヨリ春切及秋切ヲ鑑別スル、而シテ切株ノ木部ト樹皮トノ間ニ茯苓突キヲ挿入シテ其腐敗ノ程度ニヨリ略々切截後ノ年數ヲ知ル。一般ニ切株ノ赤ク腐敗セルモノ良好デ白ク腐敗セルモノハ不良デアル。尙切株ニ白ク所謂ばたト稱スルモノアル時ハ切截後兩三年ヲ經過シ漸ク茯苓ノ發生シ始メタコトヲ意

味シ切截面ガ相當ニ腐敗シ然モ是ナキ時ハ既ニ完全ニ發生シテヰルモノデアルト謂フ。次デ切株ニ所謂きのこ類ノ發生有無ヲ檢スル。若シ切株ニ所謂きのこ類ノ發生シテヰルモノハ殆ンド茯苓ハ發生シナイト謂フ。斯クシテ略々茯苓ノ發生ノ有無ヲ豫想シ次デ其切株ヲ中心ニ周圍2間内外ノ圓周カラ一齊ニ茯苓突キヲ土中ニ挿入シツヽ漸次切株ニ向ツテ圓周ヲ縮小シテ行ク。是ヲ俗ニ茯苓攻メト謂ツテヰル。若シ地中ニ茯苓アル時ハ新製ノ餅ニ箸ヲ突キ挿シタル如キ觸

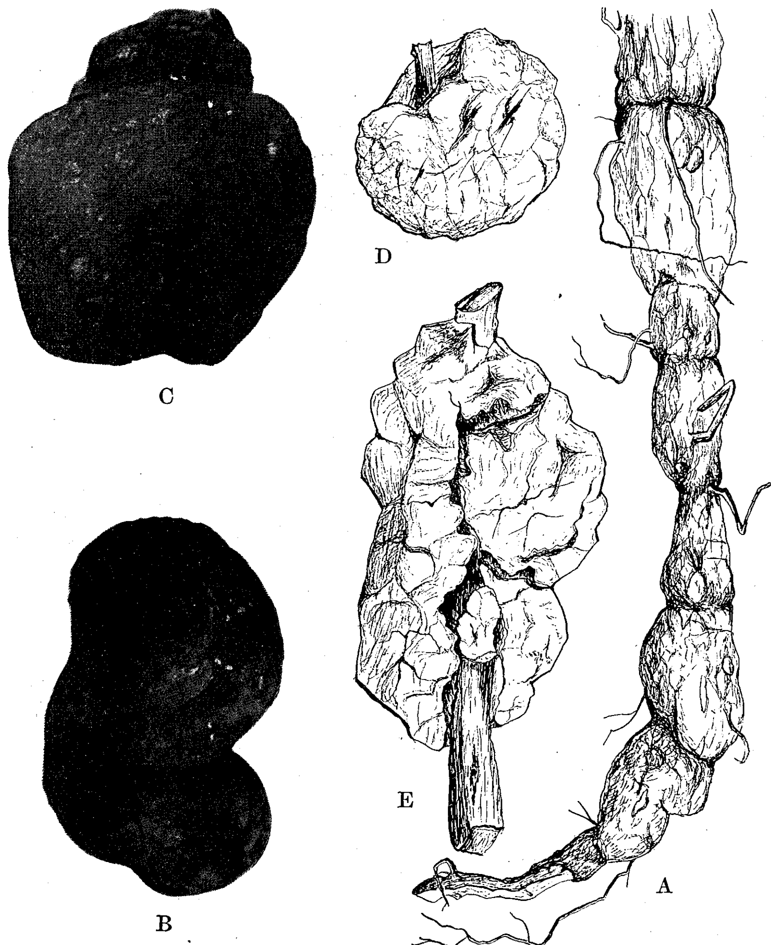


Fig. 3. Die japanische Droge "Buku-ryo" (*Pachyma Hoelen* Rumphius.)
A. 松根ニ發生途上ノ茯苓、 B. C. 茯苓（丸茯即チ皮苓）、 D. E. 茯神（木村原圖）。

感ガアリ且茯苓突キノ先端ニ白色ノ茯苓片ヲ附着シ尚是ヲ嗅グニ一種特異ノ茯苓臭ヲ有スルコトニヨリ其所在ヲ確認シ次デ其周圍ヲ更ニ精細ニ探ツテ其大キサ及深サヲ豫知シ而シテ愈々是ヲ採掘スル。茯苓ハ槪ネ 5～6 寸～1 尺内外ノ地中ニ發生シ大ナルモノハ屢々地表ニ現ハレテヰルコトモアル。採掘ニハ鎌ヲ用ヒ先ヅ周圍ノ草根ヲ刈リ土ヲ掘リ上ゲテ採集スルガ經驗者ハ全ク植エタモノヲ掘リ上ゲル如ク百發百中デ其採集ハ極メテ巧妙デアル。從ツテ茯苓ノ發生多キ時ニハ業者ハ其同伴者ガ掘リ取ル暇ナキ迄ニ所在ヲ探シ當テルト謂フ。男一人ノ採集量ハ勿論時期及發生ノ場所ニモヨルガ一日平均5貫匁内外デアル。渡邊氏ニ依レバ先年府下拜島村ニ於テ 1 個 4 貫 800 匁ノ茯苓ヲ採集シ又同氏ノ先代ハ約 20 年前府下深大寺大師境內ニ於テ 18 貫ニ達スル茯苓ヲ採集シタト謂フ。蓋シ茯苓最大ノ部類ニ屬スルモノデアラウ。

東京府下ノ茯苓採集地ハ南多摩方面最モ多ク多摩川ノ流域ヲ中心トシ上ハ拜島方面ヨリ下ハ溝ノ口方面ニ至リ更ラニ神奈川縣町田方面ニ及ンデヰル。

尙茯苓ノ採集方法ハ各地共略々同様デアルコトハ田中延次郎（植物學雜誌 **22** 號 239 頁：明治 21 年）山浦常吉（大日本山林會報 **74** 號 68 頁)、日野巖（本草 **3** 號 15 頁：昭和 7 年）等ノ諸氏ニ徵シテモ明カデアラウ。

斯クシテ得タ茯苓ハ略々 2 晝夜間水浸ノ後、庖丁ニテ外皮ヲ剝除シ更ラニ適宜ノ大キサニ切截シ天日ニテ乾燥スル。乾燥步止ハ約 5 割デアツテ玆ニ調製サレタ茯苓ハ時價 100 斤 25 圓位デアル。

茯苓ノ品質

茯苓ハ調製ノ方法ニヨリ市場デハ俗ニ丸茯、堅茯（剝ゲ茯、角茯ノ 3 種ニ區別サレ而シテ支那デハ丸茯ヲ皮苓ト謂ヒ角茯ヲ方苓ト謂ツテヰル。

丸茯（皮苓） ハ採集後水洗シ乾燥シタモノデアル。本品ハ不整ノ塊狀ヲナシ屢々深イ凹溝ガアリ其大キサハ一定ナラズ、通常 200～300 匁ヲ有シ大ナルモノハ兒頭大ニ至ル、外面ハ赤褐色又ハ暗褐色ノ外皮ヲ被リ無數ニ皺縮シ且粗糙デ恰モ松膚狀ヲ呈シ且ツ木化シテ居ル。橫切面ニ於テ實質ハ白色又ハ淡紅色ヲ呈シ質ハ堅脆ニシテ粗糙デアル。本品ハ稍々特異ノ臭氣ガアリ味ハ緩和ニシテ稍々粘液樣デアル。水ニ投ズルニ質密ナルモノハ沈下シ粗ナルモノハ浮上スル。浮上スルモノハ宜シカラズ。

本品ハ主トシテ支那ニ輸出セラレ又臺灣ニ移出サレル。

堅茯（剝ゲ茯） 本品ハ採集シタ儘ノ茯苓ヲ1～2晝夜水浸シタ後庖丁ニテ外皮ヲ剝除シ乾燥シタモノデアル、外面ハ不整ノ塊狀ヲナシ外皮ヲ剝除シタ切斷面ハ多角形ヲ呈シ深イ凹溝ニハ屢々暗褐色ノ外皮ヲ殘留シ又多數ノ裂口ガアル。

質ハ堅脆デ粗糙デアリ殆ンド臭氣ナク味ハ緩和デアル。

角茯(方苓) 本品ハ堅茯ヲ更ラニ適宜方形ニ細切シ乾燥シタモノデ凡縱2寸横1寸5分、厚サ5分位ノ茯苓片デアル。本品ハ類白色又ハ淡紅色ヲ呈シ質ハ粗糙デ堅硬デアル。殆ンド臭氣ナク味ハ緩和デアル。

茯神 ハ茯苓ノ松根ヲ抱イタモノヲ謂フ。

又俗ニ**赤茯**ト**白茯**トニ區別スル向キモアルガ一般ニ茯苓ヲ秋冬ノ候ニ採集シタモノハ其實質ガ色白ク、春季ノ採品ハ淡紅色ヲ呈スルモノガ多イガ所謂赤味ヲ帶ビタモノモ調製時充分水浸シテ乾燥スルト純白色ニ干上ルノデアル。

現在市場デハ一般ニ實質ノ白色ノモノヲ上品トセルタメ普通ハ上述ノ方法ニヨリ水浸シテ調製サレルガ此ノ方法ノ良否ニ就テハ目下少シク調査中デアル。

今市販茯苓(角茯)ニツキ一般成分ヲ檢スルニ其含量ハ次ノ如キ結果ヲ得タ。

產　地	水　分%	灰　分%	アルコールエキス%	水製エスキ%	灰分%	
					アルコールエキス	水製エキス
茨城縣笠間產	23.489	0.2853	0.690	0.824	0.016	0.084
東京府下產	19.101	0.0855	0.664	0.988	0.014	0.090
千葉縣產	21.453	0.0855	0.568	0.924	0.016	0.102

茯苓ノ有效成分ハ未ダ詳カデナイガ利尿劑トシテノ藥效ノ一ハ無機鹽類ニ基因スルモノト認メラレ爾餘ノ成分ニ就テハ葡萄糖及果糖ガ檢出セラレタニ過ギズ尙研究ヲ要スル問題デアル。

尙、川村博士ニ依レバ**ブラジル**產 *Pachyma Cocos* FR. ハ茯苓ニ一致スルモノデアルト謂ハレテ中ル。

こはくさんぼくヲ熱海ニ採ル

岸田松若

Matsuwaka KISHIDA: *Viburnum japonicum* SPRENGEL var. *fruticosum* NAKAI in Atami. Prov. Idzu.

昨昭和八年二月十九日熱海ニ採集ニ行ツタ際、來宮神社ヘ行ク隧道ノ近傍ノ高イ崖ノ中腹ニこはくさんぼく *Viburnum japonicum* SPRENGEL var. *frutico-*